



ご近所の庭のバラがきれいに咲いています。
皆様のところはどんな花が咲いているでしょうか。
学生たちには5月病にならずに
日本語の勉強を楽しんでもらいたいです。

◆ 3月24日に総会を開催（ハイブリッド）

本協会の総会が3月24日に対面とオンラインのハイブリッドで開催されました。
その様子をご報告いたします。

全国専門学校日本語教育協会 総会

日にち 2026年3月24日（火）14:30～15:30
場 所 文化学園 [東京代々木] C041 国際会議室
オンライン（Zoom）のハイブリッド開催
正会員 50 機関
参 加 37 機関（出席 20、委任 17、傍聴 2 機関）



深堀 和子 会長 岩本 仁 副会長



池田 俊一 副会長



平野 公美子 副会長



13:15より理事会を開催して理事の皆様と議案について検討したうえで、14:30より総会を開催いたしました。

対面で8機関、オンラインで12機関、委任状と傍聴も合わせて37機関にご参加いただき、無事に以下の議案をご承認いただきました。年度末のお忙しい時にご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。

<資料1>に当日の資料をまとめてあります。ご確認ください。

【議題】

第1号議案 令和8年度 事業計画案に関する件

第2号議案 令和8年度 収支予算案に関する件

その他 認定申請に向けた教員向け勉強会の開催計画について

総会はず、**深堀 和子 会長**（外語ビジネス専門学校）の挨拶からでしたが、政府の外国人政策に関して総会の直前に大きな動きがあり、その報告が主な内容でした。以下に簡単にまとめます。

政府の外国人政策が厳格化する方向に進んでいる中、3月16日に出入国在留管理庁と、24日（総会直前）に内閣府と、全専日協、全学日協など6団体の代表者が留学生の資格外活動許可、在留資格の期間更新等について協議を行った。



深堀 和子 会長

留学生の資格外活動の許可を入学後の学業成績などを踏まえて個別に審査をするといった政策は、これまで空港で許可されていたものと違い何度も入管に向いて手続きをすることを強いるもので、留学生にも学校にも入管にも負担になると強く反対した。在留資格の更新にあたり高額の更新料を求める変更についてもいい政策ではなく日本が外国人に選んでもらえなくなってしまうと反対を強く申し入れた。

内閣府の担当者からは「現場の意見は理解した。現行を維持するよう上司に伝える」との回答が得られた。

皆さんご存じのように、入管庁からの通達では、資格外活動の定期的な調査の実施を求めるルール変更はあったものの、入国時に空港で資格外活動の許可が得られることに変更はありませんでした。深堀会長が反対を強く申し入れたことが奏功したと言えるでしょう。また、会員の皆様アンケートに協力してくださったおかげで留学生の在留管理を我々がしっかりと行っている実態や、留学生が日本で学び、生活していくために、日本語教育機関が果たしている役割の大きさを関連省庁に伝えることができました。ここで改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

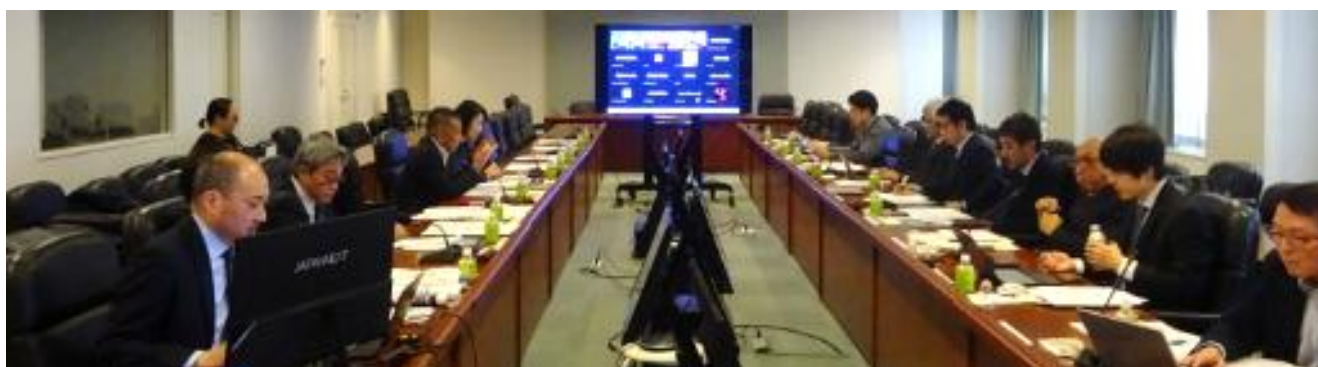
◆「**第1号議案**」では、令和8年度の事業計画案について審議し、皆様よりご承認いただきました。認定申請などに関する情報をしっかりと共有することに今年も力を入れてまいります。会員校紹介のホームページ作成が進んでいることもご紹介しました。

◆「**第2号議案**」では、令和8年度の収支予算案について審議し、ご承認いただきました。皆様から頂いた会費を、認定法への対応や会員校紹介ホームページの開設、弁論大会や優秀学生表彰など学生の活躍の奨励に活用してまいります。

◆「**その他**」では、認定申請に向けた勉強会の開催について意見交換が行われました。主に主任教員を対象としてカリキュラムをどう作成するか会員間で検討する会を開催することでまとまりました。また、東京だけでなく、大阪や福岡などでの実施もできるとよいつの提案が会員からあり、執行役員からも賛同の声が上がりました。会員の皆様と協力して、勉強会を実施してまいりたいと思います。



上田保志 理事 西村祐二郎 監事 木村実季 監事



◆ 総会企画

講演「認定日本語教育機関の申請に向けて カリキュラムをどう作成するか」



亀田 恒治 調整官

総会企画では、文部科学省 総合教育政策局 日本語教育課 教育企画調整官の **亀田 恒治 氏**に文化学園にお越しいただき、日本語教育機関認定法についてお話しいただきました。

対面とオンラインをあわせて、60名にのぼる方にご参加いただきました。会員の皆様の認定申請にお役に立ったのであれば、大変うれしいです。

講演の資料と動画はすでに皆様に共有しておりますので、ここでは触れませんが、今後もこのような機会を皆様に提供できるよう文部科学省の日本語教育課としっかりコミュニケーションをとっていきたいと思います。



◆ 懇親会は大変盛り上がりました！

総会企画の終了後、会場を近くの中華料理店に移し懇親会を開催しました。深堀会長以下19名が集まり、西村 祐二郎 監事（京都コンピュータ学院鴨川校）の乾杯で会は始まりました。認定申請に向けてどう準備していくか、各校がどんな教育に力を入れているか、協会として関連省庁に今後も要望活動を行ってほしいなど、様々な話題で盛り上がりました。

締めは池田 俊一 副会長（横浜デザイン学院）でした。
「私たちがしている日本語教育は社会に大きく貢献しています。自信を持って進めていきましょう。そして、力を合わせて認定申請を乗り越えていきましょう」という参加者に勇気を与える話で会はお開きとなりました。

皆様、ご参加ありがとうございました。



池田俊一 副会長



懇親会は協会が費用を一部を補助しております。今後も多くの皆様にご参加いただき会員間の交流の場としてご活用いただければと思います。

◆ 次の総会は 6 月 19 日（金）に開催

4 月 28 日に執行役員会が開催され、次の総会の日程が以下の通り決まりました。詳しいことは追ってお知らせいたしますが、ご参加くださいますよう、日程調整をどうぞよろしく願いいたします。

全国専門学校日本語教育協会 総会

日にち 2026 年 6 月 19 日（金）14:30～15:30

場 所 文化学園 C041 国際会議室

オンライン（Zoom）のハイブリッド開催

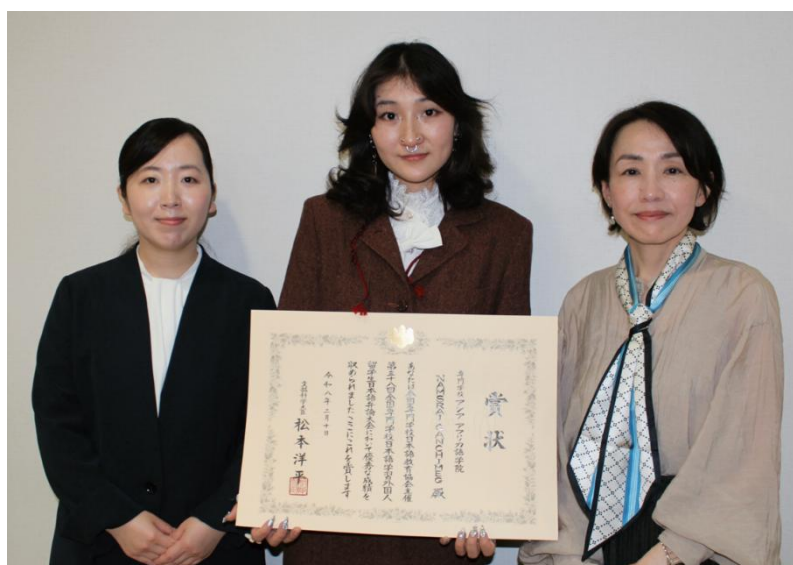
- 議 題
- ・令和 7 年度 事業報告案に関する件
 - ・令和 7 年度 収支決算報告書案ならびに会計監査に関する件
 - ・その他

※ 理事の皆様は同日 13:15 から理事会を開催いたします。

◆ 「文部科学大臣賞」の賞状授与

2月10日開催された、第38回全国専門学校日本語学習外国人留学生日本語弁論大会において、演題「バナナ」にて「文部科学大臣賞」を受賞した^{ナムスライ}NAMSRAI^{ガンチメグ}GANCHIMEGさん（専門学校アジア・アフリカ語学院）の手に賞状が届き先生方と改めて喜びを分かち合ったとの連絡が事務局に届きました。

^{ナムスライ} ^{ガンチメグ} NAMSRAI GANCHIMEGさんの今後のさらなる活躍を心から願っております。
おめでとうございます！



ちなみに、この賞状は文部科学省指定の用紙で透かしも入っている唯一無二の賞状です。この賞状を目指して皆さんの学校からもぜひ弁論大会にご参加ください。

2026年5月11日
全国専門学校日本語教育協会
ニュースレター担当